

タウンミーティング（懇談会）の開催結果概要について

◎ 各会場での主な意見等

生涯学習交流センター(3/26開催)

24名参加

- ◆ 君津は豊かな自然に恵まれていて、住みやすい。
- ◆ 君津の特徴を活かして、都心からの観光客に着目した、いろいろなアイデアを考えてほしい。
- ◆ 若者にマッチする仕事が少ない。企業誘致や鉄鋼産業の特徴を活かし、色々なところに働く場を作って欲しい。
- ◆ ごみが多く捨てられている道路がある。地域の力を取り入れた環境美化活動を推進して、きれいなまちづくりを進めてほしい。
- ◆ 山間部は人が流出してしまっている。どこに住んでも子育てができるまちづくりを進めてほしい。

清和公民館(3/27開催)

15名参加

- ◆ 君津市は気候が温暖で空気がきれいなので高齢者が住みやすい。
- ◆ 思い切った子育て支援など、若者を呼び込む施策が必要。
- ◆ 空き公共施設を有効活用して、清和地区を都心から遊びにきたくなるエリアにしたい。
- ◆ 有害鳥獣が住宅近くにも出没して、夜間に歩くのが危険。企業とタイアップする等、積極的に捕獲・活用をしてほしい。
- ◆ 企業誘致を進め、雇用を創出してほしい。
- ◆ バスに乗るまで大変な地域があるので、交通網の整備が必要。
- ◆ 元気な高齢者を増やしたい。お互いが助け合い憩える場所があるとよい。

文化ホール(3/27開催)

12名参加

- ◆ IT関連事業を起業する方が多いので、活動しやすい環境づくりが必要。
- ◆ 高齢者が増える中で元気のある方を増やすために体操教室を広めていきたい。
- ◆ 個人が持っているノウハウを集約して公共のノウハウとしてデータベース化する仕組みを作ってほしい。
- ◆ 君津市はコミュニティが充実していて住みやすいが、交通の便が悪いという点がある。
- ◆ 利便性がよく、女性が住みやすいまちづくりを進めてほしい。
- ◆ 君津インターチェンジ周辺に企業誘致を進めて、人口増加に繋げてほしい。

亀山コミュニティセンター(3/30開催)

16名参加

- ◆ 亀山地区の豊かな自然をうまく活用する必要がある。
- ◆ 亀山地区は人口が減少している。企業誘致を進め、若者が住めるまちにしてほしい。
- ◆ 有害鳥獣の農作物等に対する被害が増えてきている。
- ◆ 空き公共施設の維持管理や有効活用を進めてほしい。
- ◆ 令和元年の台風災害の際は電気、水が来ない期間が2週間以上あった。また、電話が繋がらなく、情報を集めるのに非常に苦労した。
- ◆ 産業廃棄物処理施設の問題を市民に知ってもらう努力をしてほしい。

小櫃公民館(4/2開催)

24名参加

- ◆ 若い人たちが生活しやすく、魅力を感じ君津に住んでもらう必要がある。
- ◆ 保育園等の充実や学校のGIGAスクール構想の強化をPRする等、ターゲットを絞って取り組むことも必要。
- ◆ 木更津東インターチェンジを活用した人口増加策を実施したらいかがか。
- ◆ 交通アクセスが良くなれば君津に住む人が増えると思う。
- ◆ 小櫃地区の防災、拠点づくり、観光等を総合計画に盛り込み、実現に向けた取組を進めてほしい。
- ◆ 小櫃駅周辺を一つの核として利便性が高く、移住者を受け入れられるような施策が必要。

松丘コミュニティセンター(4/3開催)

16名参加

- ◆ 空き公共施設を有効活用する等、地域が活性化する取組を実施してほしい。
- ◆ 各行政センターに地域のことを考え、活性化に資する職員を配置してはかがか。
- ◆ ICTの普及が進んでいるが、デジタル格差が起きているので、格差がなくなるような取組が必要。
- ◆ 2030年の将来都市像を考えるうえで、若年層や女性の意見が重要。それらの方々の意見を集める方法を考える必要がある。
- ◆ 今後は多様性や環境に配慮したまちづくりが大切になってくる。
- ◆ 介護福祉関係の人材確保に苦慮しているので市も人材確保について協力してほしい。

上総地域交流センター(4/3開催)

15名参加

- ◆ 久留里地区は久留里城、水、酒、米等があり、非常にいい地域なので、久留里に住んで良かった。もっとPRしてほしい。
- ◆ 木更津東インターチェンジがあり、東京に非常に近い。アクアラインを活用した人口増加策を行ってはいかがか。
- ◆ 人口増加はすぐには見込めないなので、徹底的に住みやすいまちにしてほしい。
- ◆ 高齢者が多くなり、耕作放棄地が増えている。また、有害鳥獣の農作物等に対する被害が増えている。
- ◆ 君津の特徴を活かし、農業法人等の企業誘致を進めてはかがか。
- ◆ 県内のプロチームと協力したスポーツ振興を行ってはいかがか。

小糸公民館(4/4開催)

22名参加

- ◆ 君津に移住してきたが、気候が良く、自然が豊かで、自給ができる。近所の方と協力した生活や豊かな自然の中での子育てもできる。
- ◆ 君津に移住するメリットをPRすることで移住者を増やせると思う。
- ◆ SDGsについて聞いたことがない人も多いので意識した活動が必要。子どもたちが未来を生きていくことも考えないといけないので、SDGsについて学ぶ機会が必要。
- ◆ 大雨の際、小糸川の氾濫状況がすぐにわかるようにしてほしい。
- ◆ 災害が起きたときに対応できるように、防災訓練等を毎年実施することが重要。
- ◆ 地域と市が協力して移住者を増やしたい。

周南公民館(4/4開催)

18名参加

- ◆ 君津市は手つかずの自然があり、水と緑の豊かな田園工業都市のイメージがある。
- ◆ 小櫃川の水源に産業廃棄物処理施設がある。近隣市と協力して対応してほしい。
- ◆ それぞれの地域の歴史にまつわる方々を学校教育で紹介する取組を進めてほしい。
- ◆ 君津は公園が多く学校教育が充実しているので、住みやすい。
- ◆ 子どもの教育は多様性が大切である。国際会議等で日本人は発言しないが、そのような場所で発言できるような人材を育ててほしい。
- ◆ 君津市の発展に公民館が大きく関わってきた。市民の学習意欲の高さと繋がりにより、多くのサークルができた。